

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の特徴（和歌山県）

1 教科に関する調査結果

(1) 和歌山県（公立）と全国（公立）の平均正答率

単位：%

	小学校国語	小学校算数	中学校国語	中学校数学
県	65	70	61	55
全国	65	70	65	57

※平成28年度からは、学力面において、細かい桁における微小な差異は、実質的な違いを示すものではないため、平均正答率については整数値で示している。

(2) 和歌山県（公立）平均正答率と全国（公立）平均正答率との差の推移

単位：pt(ポイント)

	小学校国語		小学校算数		中学校国語		中学校数学	
	A	B	A	B	A	B	A	B
H27	0	0	1	0	-3	-3	0	-2
H28	-3	-2	-1	-1	-2	-4	0	-1
H29	0	-1	0	0	0	-2	0	0
H30	1	0	-1	-1	-1	-2	1	-2
H31(R1)	0		-1		-3		-1	
R3	0		0		-4		-2	

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等により実施見送り。

※平成31年度からは、全ての教科において知識・活用を一体的に問う問題形式となったため、従来のAB区分がなくなっている。

(3) 調査結果の特徴

小学校は国語、算数ともに、平成29年度から継続して全国平均と同程度の結果となっている。
中学校は国語、数学ともに全国平均を下回った。

○成果

- ・小学校国語では、「言葉の特徴や使い方に関する事項」の平均正答率が全国平均を上回った。
- ・小学校算数では、「数と計算」と「変化と関係」の平均正答率が全国平均を上回った。

●課題

- ・中学校国語、数学では、特に記述式問題において以下の課題がある。
自分の考えや考えた理由を書くこと（国語）
事象を解釈し、数学的に説明したり表現したりすること（数学）

2 質問紙調査結果

○成果

- ・小学校では、「授業の内容はよく分かる」と回答した子供の割合が、全国を上回った。
【全国差 国語+2.4pt、算数+2.4pt】→概要 P5(1)②
- ・「人の役に立つ人間になりたい」と回答した子供の割合が、全国を上回った。
【全国差 小学校+1.0pt、中学校+0.1pt】→概要 P8(4)⑤

●課題

- ・「国語の授業では、目的に応じて文章を読み、感想や考えをもったり、自分の考えを広げたり（中学校：内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたり）している」と回答した子供の割合が、全国を下回った。【全国差 小学校-1.1pt、中学校-3.0pt】→概要 P5(1)⑤
- ・「家で自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した子供の割合が、全国を下回った。
【全国差 小学校-1.4pt、中学校-2.7pt】→概要 P7(3)①